

# siesta



体に効く・心に効く医療情報誌 [シエスタ]

- interview 医師は天職 長村登紀子 東京大学医科学研究所附属病院 セルプロセッシング・輸血部/検査部
- reportage 医療施設を歩く JA神奈川県厚生連 相模原協同病院
- hint あしたの医療へ 「『笑いの種』の育て方」柳家花緑
- food カフェ・シエスタ 春待ちスイーツ

**JMS**

「サイエンティストで  
ありつづけたい  
ラフィジシャン・  
エンジニア」と  
で

# 長村登紀子

ながむら ときこ

東京大学医科学研究所附属病院  
セルプロセッシング・輸血部/検査部 准教授



“リケジョ”という言葉がマスコミに登場する前から医師の道を選び、

診療と研究を続けてきた長村登紀子氏。

結婚し、2人の子どもを育てながらの“リケジョ人生”は

決して楽なものではなかったはずだ。

それでも常に医療の第一線に立ち続けたエネルギーは

一体どこからくるのか。

優しい笑みの向こうにある素顔に迫ってみた。



## 隣人の影響で 医師を目指す

長村氏が生まれ育ったのは山口県中央部にある小郡町（現山口市）。昔から山陽の宿場町として栄えた静かな町だ。「自慢ではありませんが、体育の成績だけは小学校からずっとよかったです。家族は信じてくれませんが（笑）」と自分が認めるほどの運動少女だった長村氏に新しい興味をもたせてくれたのは、高校教師をしていた父親だった。「父が鶴亀算を、連立方程式で解く方法を教えてくれたのです。鶴亀算ではうまく解けなかったのに、方程式ではスラスラと答えが出て、数学って面白いなと思いました」。

数学を含めて理系が好きになった少女は、高校は理数科へ進学した。理数科は40人1クラスのみで、そのうち女子生徒は4人だけだった。「人数が少ない分、仲が良かったですね。クラスメートに誘われてESSに入部したのですが、いつもは英語はそっちのけでトランプばかりしていて、文化祭の時だけ英語劇をしていました」と懐かしむ。

そんな長村氏には、子どもの頃からずっと憧れている職業があった。きっかけをつくったのは実家の隣人だった。

長村氏の実家は病院の前にあり、実家の隣にその病院に勤務する医師夫婦が住んでいた。彼らにはまだ子どもがおらず、長村氏をわが子のようにかわいがってくれた。「その先生が子どもの目にかっこよく映り、いつしか医者になりたいなと思うようになったのです」。

さらに進路について父と相談したとき、父から思いもよらない話を聞かされた。「父は医師になりたくて医学部に進んだけれど、経済的な理由から退学せざるを得なかったと明かしてくれたのです。きっと父は断腸の思いで医師になる道を諦めたと思います。父の分も頑張って、医師にな

ろうと改めて決意しました」。

小郡から山陰線1本で行ける島根医科大学（現島根大学医学部）に進学した理系少女は、夢を実現させる第一歩を歩みはじめた。

## 山口大学医学部から 血液の真髄、医科研へ

長村氏は専門にする診療科も入学時から血液内科と決めていた。「私をかわいがってくださった隣人の先生が血液内科医だったので」。血液内科（第一内科）に入局したが、翌年、実家に近い山口大学医学部血液内科（第三内科）に移った。そのことがのちの長村氏の人生に大きな転機をもたらすことになる。

山口大学医学部第三内科にはかつて、故・三輪史朗氏が教授として在籍したことがあった。三輪氏は米国留学中に血液中のピルビン酸キナーゼ欠乏による溶血性貧血患者を世界で初めて発見した血液学の大家だ。その三輪氏が山口大学から東京大学医科学研究所（以下、医科研）に移ったことから山口大学には医科研とのルートができていた。

ある日、長村氏は血液内科の先輩からこう言い渡された。「君は医科研に行って頑張りなさい」。

長村氏は、「若かったから不安は全くなかったですね。医科研は血液学の真髄のところ。むしろ、ワクワクした気持ちで上京しました」と医科研へ向かった当時を振り返る。

## 2人の子どもとともに 夫に帯同して米国留学

医科研で待っていたのは夜遅くまで実験をし、臨床もこなすという多忙な日々だった。「こん

な生活を続けていたら長生きできないかもしれないと思ったこともありました。でも、そんな不安以上に、毎日が刺激的で楽しかったですね」。日本の造血幹細胞移植を牽引していた故・浅野茂隆教授に、夜中にラーメンや焼き肉を食べに連れて行ってもらったことも今では忘れられない思い出の一つだ。

浅野教授の下にいた岡本真一郎氏（前慶應義塾大学医学部血液内科教授）から造血幹細胞移植を学び、東條有伸教授（現東京医科歯科大学副理事・副学長）に基礎研究を学び、慢性骨髄性白血病をテーマに臨床と研究にいそしんだ。その成果は4年も経たないうちに論文博士の学位取得として結実した。

その後、東京大学医学部免疫学教室で免疫学を学び、再び医科研に戻ってきた。この間、医科研の同僚と結婚し、第一子が誕生するというプライベートにおいても大きな変化があった。

長村氏の言葉を借りれば“計画的”に年子で第二子を出産し、その半年後にはFDA（米国食品医薬品局）に留学する夫に帯同して渡米した。このとき長村氏自身もNIH（米国国立衛生研究所）で研究するアポイントメントを取り付けていたが、ビザの関係で給料をもらえる身分になかったため、NIHの事務に面談することとなった。その際、NIHの研究室のボス、尾里啓子先生からこうアドバイスされた。「オフィサーとの面談時には、自分は働きたい、研究をしたいと猛アピールしたほうがいい」。当時、NIHには日本人の女医が何人も入っていたが、その多くが子育てで忙しいので少し研究室の雰囲気を味わってみたいという手伝いのような感じでの研究参加だった。そのアドバイスを聞いたとき長村氏は「日本人女医の姿勢が問われている」と思ったという。

助言にしたがって猛アピールしたかいあり、研究者として働き給料を得ることができた。一方、電話をかけまくり、2人の子どもは夕方6時まで



ナーサリーに預ける段取りを整えた。

留学に関して、長村氏には一つ残念だったことがある。留学後すぐにNIHでマウスの実験をしたかったが、日本人の男性研究者から「子育てもあるので時間的に無理でしょう」と言われ、受け入れたことだ。「ホントにいらぬお世話ですよね」。今でこそ笑ってこう話す長村氏だが、おそらくそのときは何ともいえない口惜しさを覚えたに違いない。

## 細胞を使う側から 細胞を作る側へシフト

2000年9月、2年半の米国生活を終え帰国。古巣である医科研に戻り、入ったのが細胞プロセッシング寄付研究部門だ。同部門は、当時著しい進展を遂げていた細胞治療をさらに促進させる目的で1995年に開設され、97年に「東京臍帯血バンク」を立ち上げていた。また、98年には医科研附属病院でわが国初の成人への臍帯血移植が成功を収めるなど、臍帯血移植は著しい伸展をみせていた。さらに同部門は、2000年頃からは胎盤や臍帯を用いた再生を目指していた。

長村氏は高橋恒夫客員教授に師事し、同部門の東京臍帯血バンクを担当、品質システムの国際規格「ISO9001:2000」の認証を取得したり、品質管理に努めたりした（東京臍帯血バンクは2014年3月31日で終了）。それ以降、細胞を「使う側」から細胞を「作る側」へと立場を変えて今日に至っている。

その後、医科研附属病院セルプロセッシング・輸血部に異動し、ここで間葉系細胞（MSC）の可能性を知る。「それまで私は再生医療はやらないと決めていました。血液内科医としての矜持、というのでしょうか。ところがその頃、MSCが骨や脂肪、軟骨や神経系細胞、肝臓細胞などに分化する能力をもっているだけでなく、過剰な

免疫反応を抑制する作用があることがわかつてきました。『あ、MSCも血液じゃないか』と思ったのです。免疫系疾患の治療に使えると考え、MSCと真正面から向き合いはじめました」。

MSCは骨髄由来のものが先行的に使われていたが、長村氏は、ドナーに身体的負担のない臍帯に注目し、基礎検討を進め、2017年「東大医科研病院臍帯血・臍帯バンク」を設立した。

現在、医科研臍帯血・臍帯バンクが提供したMSCを用いて、重症急性移植片対宿主病（GVHD）や脳性麻痺などへの治験が進められている。2020年には、自身の研究データをベースにした新型コロナウイルス感染症に伴う急性呼吸窮迫症候群（ARDS）に対する臍帯由来MSCを用いた企業治験も始まるなど、活躍の場が広がっている。

## 子どもたちの励ましの言葉と 仕事への情熱がパワーの源

長村氏は自分の人生を「いつも坂道を登っている感じ」と表現する。坂道の一つは女性が仕事の成果をあげても男性ほど評価されないという男女格差。もう一つは家事や育児をしながら仕事を続ける難しさだ。「幸い、主人が積極的に家事をサポートしてくれたので、ずいぶん助かりました。子どもが幼い頃は二重保育で夜8時過ぎまで保育園に預け、小学校からは子どもが家で過ごせる時間を作りたてお手伝いさんを雇いました。また、寂がらないように子どもと一緒に寝て、朝4時ごろ起きて机に向かっていました」。

しかし、坂道を登るのをやめようと思ったことは一度もない。「子どもたちからの『頑張って』という言葉と、なんと言っても『この仕事が大好き』という思いが力になりました」。

最近、嬉しいニュースが飛び込んできた。長

村氏らから助言を受けながら弊社が開発した凍結保存バッグ「セルキュア」シリーズが2021年度グッドデザイン賞ベスト100を受賞したのだ。

さらに10月には、医科研の地下に最新設備を揃えた細胞調製室が完成した。ここは、臍帯由来間葉系細胞製品の原料を培養し、企業や研究機関へ良質な細胞を供給するための核になるところだ。同時に、研究用や臨床試験用の細胞を製造することで、医科研における研究の発展に大いに貢献することが見込まれている。

今でも患者を診るフィジシャンであると同時に、研究を続けるサイエンティストでもある長村氏は、力強くこう言い切った。「私はこれからもフィジシャン・サイエンティストの人であり続けたい」。

取材・文／萩 和子 撮影／轟 美津子



長村氏が手に持つ凍結保存容器2.5mLタイプ「セルキュア®」（右）は、『セルキュア』シリーズとして、2021年度グッドデザイン賞受賞対象の中で、審査委員会により特に高い評価を得た100件に選ばれた。左は、開発中の25mLタイプ「セルキュアムーン®」。



製品の詳細は  
こちらのQRコードから  
ご覧ください。

2021年度  
グッドデザイン賞受賞  
・ベスト100選出

GOOD DESIGN AWARD 2021  
BEST 100

# 新病院移転で地域救急医療の 砦を強固なものに

JA神奈川県厚生連 相模原協同病院 神奈川県相模原市

神奈川県北部に位置し、緑区、中央区、南区からなる相模原市。横浜市、川崎市に次ぐ県内3番目の人口を抱えるが、その多くは中央区、南区に集中している。一方、緑区は、人口は少ないものの面積は3区内で最も広い。

その緑区にある相模原協同病院が2021年元旦、新病院へ移転した。病床数はそれまでの437床から400床へとスリムになったが、高度急性期医療を担う医療機関としてのさらなる充実が図られた。

## 救急外来を軸に 配置を組み立てる

相模原協同病院は1945年に県北部の無医村解消を図るため、神奈川県農業会相模原病院として開院。49年、神奈川県厚生農業協同組合連合会（厚生連）に運営が引き継がれ、協同病院と改称、68年に現在の名称となった。

旧病院はJR橋本駅から徒歩5分の好立地にあったが敷地が狭く、駐車場の収容台数が少なかったため、病院前にはいつも駐車待ちの車列ができていた。加えて施設の老朽化もあったことから、旧病院から車で約7分の職業能力開発総合大学校跡地へ移転した。

新病院の敷地面積は東京ドームの約1.5個分に当たる7ha。その半分弱が建物で、2階建ての



外来棟と6階建ての入院棟で構成されている。外来棟の正面入口を入ると、ホスピタルストリートと呼ばれる広い通路がまっすぐに伸び、右側には検査室、左側には外来診療室が並ぶ。



井關治和 病院長

「コンパクトだった旧病院に比べ、新病院は広々とした開放的な空間になりました。課題であった駐車場は900台収容できるスペースを確保できました」と井關治和病院長は笑みをこぼす。移転の目的はむろん駐車場不足解消だけではない。相模原協同病院は元々相模原市の2次救急の中心的な病院の一つだ。「新病院ではさらに一歩進んで、高

度急性期医療施設としての充実を図りたいと考えました。そのため、外来棟は救急外来を軸に配置していきました」と井關院長。

救急外来は建物の北側、ホスピタルストリートの右側に並ぶ検査室と通路を挟んだところにある。その並びにはIVR室や放射線検査室が配置され、救急患者が最短の動線で検査を受けることができる。しかも、治療が終わった患者は専用のエレベーターで2階のICUへ速やかに移動できる。また、400床中、ICU8床、HCU10床、救急病棟のHCU14床、SCU6床、NICU6床が用意されている。

## 常に2名の救急担当医体制で 早急対応する循環器センター



相模原市の3次救急は、長らく南区にある北里大学病院が担ってきた。しかし同市は縦に長く、緑区から北里大学病院に救急搬送しようとすると30~60分かかる。そこで、相模原協同病院では循環器センターを2001年に開設し、「24時間365日断らない」ことをモットーに救急の受け入れを始めた。それは新病院でも引き継がれ、毎日2名の医師を救急担当として一刻も早く治療に対応できる体制を整えている。

「循環器疾患は時間との勝負です。3次救急



杉本篤彦 循環器センター長

に近い救急搬送も、可能な限り受け入れています」と循環器センター長の杉本篤彦氏は述べる。

最近、同センターでは全国で150施設ほどしか入っていない

いインペラ(補助循環用ポンプカテーテル)を導入。インペラは超小型のポンプを内蔵したカテーテル装置で、急性心筋梗塞や超重症心不全、劇症型心筋炎などによる心原性ショックに適応される。導入後3カ月の間に、すでに7件ほどのインペラ治療を実施している。

急性期だけではなく、慢性疾患の治療レベルも高い。例えば、慢性完全閉塞病変(CTO)に対する心臓カテーテル治療の成功率は一般的に70~90%といわれているが、同センターでは95%を誇っている。

また、2021年からカテーテルアブレーション専門の2名の医師が入職。おそらく2021年はアブレーション治療が100件ほど増えるのではないかと杉本氏は推測する。

同センターの医師たちの平均年齢は約35歳。「フットワークが軽いのが当センターの特徴」と話す杉本氏は、どんな患者が搬送されてきても適切かつ速やかに対応できるようにと、若い医師にも積極的に治療経験を積ませている。

「緑区は高齢者人口が多く、通常の手術ができるケースも多くあります。そうしたケースの代替として、将来、TAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)などのストラクチャー心疾患カテーテル治療を行うようにしたい。そうすればかなりの領



杉本循環器センター長によるカテーテル治療

域の患者さんをカバーできます」と杉本氏は熱く語る。

## 脳卒中センター新設で 市外への救急搬送が激減

移転を機に、新設されたのが脳卒中センターだ。それまで相模原市の脳卒中センターは北里大学病院のみだった。そのため対応には限りがあり、脳卒中疾患の救急車のなんと約4割が市外に搬送されていた。

「緑区で発生する脳卒中疾患の救急搬送を引き受けたいと以前から考えていました。移転はそれを実現する絶好の機会になりました」(井闇院長)。

実際、同センターができてからは、市外へ搬送されるケースは激減。コロナ禍においても、脳卒中にに関しての搬送困難例はこれまで1件も出でていない。

同センター開設に向け、半年前から準備をしてきたセンター長の池田俊貴氏は「脳卒中は一刻



池田俊貴 脳卒中センター長

の猶予もないため、開院にあたりどれだけ早くスタートダッシュを切れるかを重視し、移転後すぐに皆で様々なシミュレーションを行いました。開院4日目から手術を開始でき、1月だけで20件の手術を実施。その後も手術件数は増え続けています」と語る。

同センターでは、常に脳梗塞の血栓回収治療を行える体制を組んでいる。また、難治疾患の脳動静脈奇形(AVM)の治療や脳動脈瘤に対する高難度バイパス手術などもすでに複数症例実施しており、着々と実績を積み上げている。

「市内や近隣地域で脳卒中が起こっても、『あそこがあるから安心』と言われるような脳卒中センターにしていきたい」と話す池田氏には、今後取り組みたいことが二つある。

一つは市民講座だ。脳梗塞の場合、発症間もない超急性期に早期受診できれば、治療の選択肢が広がり、重篤な脳梗塞に陥るのを防げる可能性がある。「早期受診につながる啓発活動を行いたい」と池田氏。もう一つは救急搬送の効率化だ。「軽症、中症、重症での搬送先をルール化すれば、より効率的に搬送できます。行政や他の医療機関と協力して、この地域に合った救急医療制度整備のお手伝いをしたい」。

## 日本で最初の新型コロナ 感染者の受け入れ先に

同病院にとって2020年1月10日は忘れられない日となった。同日、武漢からの帰国者の妻から1本の電話が入った。「夫に発熱があり、診てもらえないか」との依頼である。当日の朝、井闇氏は全職員に「武漢で広がっている肺炎は新型コロナウイルス感染症である」と知らせたばかりだった。

「当日の早朝、WHOからの勧告を知り、いつかは新型コロナ感染者が来るなど覚悟はしていましたが、まさかその日のうちは思ってもいませ



池田脳卒中センター長による手術の様子



プライバシー保護のため、患者受け入れの際ブルーシートで目隠しを行った

んでした」と井關院長は振り返る。

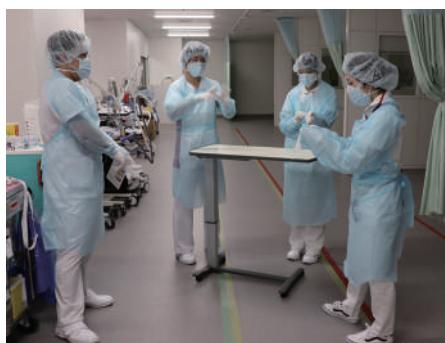
急遽、感染対策委員会が招集され、ヒトからヒト感染の可能性があることから、最大限の感染対策をとることを決定。幸い、同病院は第2種感染症指定医療機関に指定されており、感染症病棟をもっていた。もうひとつ、幸いなことがあった。同病院では以前から感染症対策に力を入れており、1年前に新型インフルエンザ対応大規模訓練を主催していた。訓練で使用した防護服の予備が大量にあり、その着脱法も多くのスタッフが

体得していたのだ。

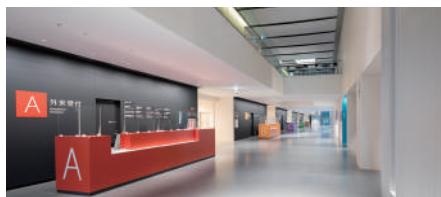
感染対策室室長の眞野彩氏は「感染対策をきちんとすれば感染拡大は防げると思っていたので、不安はありませんでした」と話す。

この男性患者は、他の外来患者と接触しないよう感染症病棟で受け入れ、スタッフは防護服とゴーグルを着用して対応した。その後の検査で陽性が確認され、15日、日本における新型コロナウイルス感染者の第1例として厚労省より発表された。

2月6日からは横浜港に停船したクルーズ船の陽性患者も受け入れた。「米国など、外国人の方々の受け入れには、食事や生活環境の違いがあり、コミュニケーションがとれず苦労しましたね。また、退院に際しては外務省や厚労省、大



防護具着脱の練習



1階の外来受付

使館との連携が必要でした」と眞野氏は話す。

一方、感染者の受け入れは風評被害を巻き起こし、状況を知ろうとスタッフに取材するマスコミも現れた。そのため、ホームページに現状や感染症対策を徹底して行っていることを掲載、通院や入院に問題がないことを伝えた。

感染拡大につれ、昼夜問わず発熱外来に多数の患者が押し寄せた。「医療部や看護部だけでなく、事務スタッフも検温を手伝うなど、全職員の協力のお陰で院内感染を起こすこともなく、乗り越えることができました」と眞野氏。また、今後については「海外との往来が再開されると、新興感染症がいつ発生するかわかりません。それに備えて日ごろから訓練しておくことをお勧めします」とアドバイスする。

同病院では市からの病床拡大の要請を受け、旧病棟の40床を新型コロナウイルス感染者専用病床として対応した。

## 新型コロナ対応をヒントに 市北部のER型救急病院に

相模原市では、当初、新型コロナ感染症重症患者は北里大学病院が受け持っていた。しかし、重症患者の急増で北里大学病院だけでは対応が難しくなり、同病院でも重症患者を引き受け、エクモ(ECMO)治療を行った。このことで、市内の重症患者が入院できなくなる事態を回避できた。井關院長はこれをヒントに「北里大学病院のお手伝いをして、当病院を1次から3次まで分け目なく診るER型救急病院にしていこうと考えています」と語る。

広い相模原市の3次救急を北里大学病院だけが担当するのは無理がある。同病院が市北部の3次救急まで担当すれば、市全域の3次救急がカバーできるではないか。すでに新病院には循環器センターと脳卒中センターがある。それを活かすことで3次救急医療機関としての役割を果たそうというわけだ。

「当院は相模原市北部の救急医療の砦です。これからさらに強固な砦にしていきたい」。井關氏は力を込めてこう語った。



壁にはみかんなどの農作物がデザインされている

取材／荻 和子 撮影／轟 美津子 写真提供／相模原協同病院

「笑えない状況」の中でも  
笑いの種を見つけ、  
困難の先へ進む  
元気を得ることは  
可能でしょうか?  
落語家の  
柳家花緑さんに、  
医療現場を明るくする  
ヒントについて聞きました。



## まず、自分のご機嫌をうかがいます

芸人にとって大変なのは、体が元気でも心が痛んでいるときです。「お客様のご機嫌をうかがいます」という落語家の枕詞がありますが、まずは自分の機嫌をよくしないといけません。マイナスの気持ちを引きずっていると、お客様の呼吸を感じることもできず、良い高座になりません。

「ほめられたから、今日は一日機嫌がいい」という人がいますけれど、逆にけなされたら「一日中機嫌が悪い」ってことになりますね。心の主導権を人に握らせてしまうのは危険なことです。僕は、良い意見も悪い意見も世界全体からみれば50%・50%だと思うようにしています。「天才!」なんて持ち上げられても「まだまだだな」というお客様の声をどこかで感じるし、「つまらない」「嫌い」なんて言葉を投げつけられても「僕の落語を待ってくれている方もきっといる」と妄想する。すると、心のバランスが整うんですね。



『柳家花緑 特選まくら集  
多弁症のおかげです!』竹書房  
近年自覚した学習障害の症状である多弁症を逆説的に駆使して、世の中の幸運や面白いことを喋り倒したまくら集。「ラッキーの作り方」「シンクロニシティの作り方」など、ほっこりと幸せをかみしめたくなる、不思議で楽しいまくらが満載。本文中にある熱中症のエピソードも登場します!



## 笑いでNK細胞が活性化する!?

笑いは体に良いって言われますよね。筑波大学名誉教授の村上和雄先生は、笑いによってNK細胞が活性化し、免疫力が上がるとおっしゃっていました。「笑いは副作用のない薬。依存症はあるかもしれないけどね」とて。落語家にとっては頼つてもいい依存症(笑)。

とはいえる「笑えない状況」は世の中にたくさんありますね。特に病院は皆が病気や心配事を抱えてくるところですから、場の空気を明るくするって簡単ではありません。お医者さんや看護師さんはそんな患者さんの気持ちによりそっておられると思います。

僕は以前、熱中症で救急搬送されたことがあるんですが、その話を“まくら”でしゃべっちゃった。江口洋介似のお医者さんと、語尾にハートマークのついた看護師さんのやりとりが面白くて、意識がもうろうとしつつも、コレ高座でしゃべろうって(笑)。私は体と心は別だと思っているので、多少体がつらくても笑いの種は見つけられるんですよ。

# 育て方



## 「万事素直」で見えてくるもの

コップに水が半分入っていたとします。「なんだ、半分しかねえや」は否定的、「半分も入ってる!」は肯定的な見方。でも、客観的に見れば「150cc入るコップに75cc入っている」だけ。幸も不幸も見方しだいなんですね。

不幸のフィルターを通して見ると、万事が不安の種になる。一方、どんなに疲れていても笑ってポジティブな見方をしろ、なんていうのも無理があります。祖父・五代目柳家小さんの座右の銘が「万事素直」でした。ひとつの見方にとらわれず、素直に目の前のできごとを受け入れていくと、そこにいろいろな「面白さ」が見つかるみたいです。



# 笑 い の 種 の

## 四 「死」の話題は 「縁起が悪い」か?

僕はコロナのようなシリアスな話題も落語に取り込んでいます。最近は高座で「皆さん、コロナを怖がってる暇なんかないですよ。皆さん忘れてるようですが、遅かれ早かれみんなあの世へ行くんですから」なんて言ってます。「日本で落語を聞いたことのある人って何%でしょうか。その中でも、今日ここに来てくださった皆様と私はすごく縁がありますね。どうです、死んだらあの世でまた落語会やりませんか」。すると皆さん喜んで拍手してくださる。その後、「いやちょっと待って、あの世だと小三治も談志も小さんも志ん朝もいるわけですよ。花緑の落語会なんて来ないでしょ?」っていうと、わあーっと笑ってくださったり……。

死が「縁起が悪いこと」というのは一つの見方で、中立的に見れば良いも悪いもない。だから、私は死を話題にするのを怖がりません。幸不幸、生と死は物事の裏表ですから、両面を扱いたい。古典落語にも「らくだ」をはじめ、死を扱った噺はいろいろありますね。

## 伍 「ありがたい!」で 苦も楽も味わい尽くす

「あの世では、思ったことが何でもかなう」と聞いたことがあります。それは良いことのようで、実は退屈だと。とすれば、人間は悩みや苦しみを味わいたくて、わざわざこの世に生まれてきたのかもしれません。つまりこの世は絶叫マシン、ディズニーランドでいえばホーンテッドマンション。生きることはピンチを乗り越えて達成感を得るアトラクションというわけです。僕の空想話ですけど、そう考えるとしっかりとこの世に根ざすことができる気がします。

悩みや苦しみを軽やかにくぐり抜けていく秘訣は「感謝」じゃないかな。「ありがたい」の意味は「ありえない」。当たり前のことが当たり前じゃなかったと気づいたとき、自然に生まれる気持ちで「ワクワク」と似ています。「病気になってはじめて健康のありがたさがわかった」なんて言いますけど、実際に何かを失う経験をしなくても想像することはできる。うちの妻は今50代ですが、80代の自分を想像しながら鏡を見て「若いわあ」なんて言っています(笑)。日々ありがたいなあと思っていると、苦も楽も味わい尽くして笑い飛ばせる、柔らかい心になれる気がするんですよ。



柳家花緑 Yanagiya Karoku

落語家。祖父・五代目柳家小さんに入門し、戦後最年少の22歳で真打昇進。スピード感溢れる歯切れのよい語り口が人気で、古典落語はもとより新作落語にも意欲的に取り組み、TVや舞台でも幅広く活躍している。『花緑の幸せ入門「笑う門には福来たる」のか?~スピリチュアル風味~』(竹書房)など著書多数。



取材・文:坂口香野

ジェイフィード®ENシリンジ専用〈シリンジポンプ型〉

## 「JMS経腸栄養ポンプ EN-SP50」販売開始

### 製品の特長・担当者の想い

NICUや小児領域などで、ミルクや栄養剤等を持続的に一定の流量で注入できるシリンジポンプ型の経腸栄養用ポンプの販売を開始しました。

操作パネル等の色調はジェイフィード経腸栄養システムに合わせて紫色を採用。

比較的粘度が高い栄養剤等での使用を考慮して、閉塞圧検出設定を3段階にしたことで、不要な閉塞アラームも回避できます。

また、微量注入時の閉塞発生を少しでも早く検知できるよう、流量に応じて閉塞圧検知レベルを自動で切り替える設定も可能です。



詳しくはこちらのQRコードから  
製品案内ページをご覧ください。



2003 医療事故防止対策通知※対応

本マークは医療事故対策のために設定された厚生労働省基準に適合することを示す業界の自主的なマークです。

※関連企業を対象とした厚生労働省通知「輸液ポンプ等に関する医療事故防止対策について」  
医業発第0318001号:平成15年3月18日

販売名：JMS経腸栄養ポンプ EN-SP50

一般的な名称：経腸栄養用輸液ポンプ

医療機器承認番号：30300BZX00052000

製造販売業者：大研医器株式会社

お問い合わせ：カスタマーサポートセンター TEL 0120-923-107

## レーザ血流計「ポケットLDF®」に新しい機能 フットチェックシステム導入

### 開発の経緯・担当者の想い



フットチェックシステム  
を用いて末梢血流検査を強化する  
—末梢血流障害による下肢切断のリスクを考える—

特にフットケアが必要な透析患者様の末梢動脈疾患の早期発見にむけて、より手軽に、より簡単に、短時間でフットチェック検査ができる仕組みができないか……。レーザ血流計「ポケットLDF®」に新たに導入された下肢検査システムは、そんな思いから開発されました。

測定は、「足指クリップ」を第一足趾に挟むか、専用の「両面テープ」でセンサーを任意の部位に固定して、「フットチェックViewer」で血流値を記録するだけ。測定終了後に出来されたレポートは、そのまま電子カルテ等に添付して、レセプト請求に使っていただけます(D207 体液量等測定 100点)。

従来の検査に比べて非侵襲かつ短時間に下肢の末梢血流が測定できるので、毎月など計画的な血流測定を行うことで進行性足病変を早期に認知いただき、透析患者様の足病重症化の予防・フットケアに是非お役立てください。

販売名：ポケットLDF

一般的な名称：レーザ血流計

医療機器承認番号：22600BZX00424000

製造販売業者：株式会社ジェイ・エム・エス

お問い合わせ：サージカル&セラピービジネスユニット TEL 03-6404-0603

ジェイ・エム・エスは、これからも医療現場の課題解決をサポートし、  
安全・安心にご使用いただける製品をご提供することで、医療の効率化と安全性の向上に貢献してまいります。

# 春待ち スイーツ

ちょっと甘いものがほしいとき……  
身近な材料で作れる、  
ほっとする味わいの  
お菓子をご紹介します。

## スイーツと好相性の春菊。あまつたら 草もち風白玉に

香りのよい春菊は、あんこともよく合います。余った春菊を白玉粉に混ぜ、水少々を加えて耳たぶくらいの固さにこね、熱湯でゆでて冷水に取れば草もち風に。あんこを添えてどうぞ。



MEMO

【たまごの蒸しパン】[材料(直径7センチのプリン型3個分)]小麦粉 60g／ベーキングパウダー 小さじ1(4g)／砂糖 40g／塩 少々／卵 1個／牛乳 大さじ2／ごま油 大さじ2

①ボウルに卵と砂糖、塩を入れて混ぜ、牛乳とごま油を加える。

②小麦粉とベーキングパウダーをふるい入れ、粉っぽさがなくなるまで混ぜる。

③型に紙カップを敷き、②を8分目まで入れる。湯気の上がった蒸し器で20分蒸す。

★蒸し器がないときは…フライパンに型を入れて高さ1cmまで湯を張り、蓋をして蒸せばOK。

【春菊の蒸しパン】

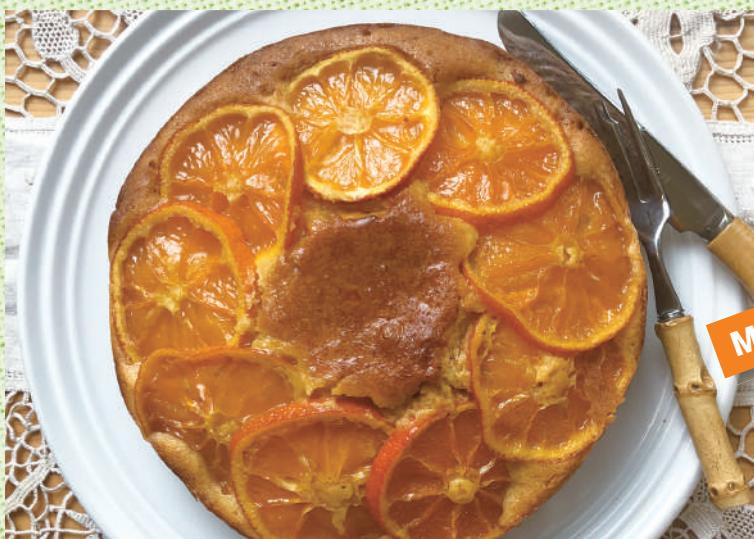
①春菊をゆでて水気を絞り、葉先を細かく切る。これを大さじ2用意。

②【たまごの蒸しパン】から牛乳を大さじ1に減らして生地を作り、春菊を加えて蒸す。



## みかんとシナモンのバターケーキ

みかんを丸ごと味わえる、さわやかな香りのケーキです。



MEMO

みかんのシロップ煮があまつたら  
ホットドリンクに！



みかんのシロップ煮は多めに作っておくと便利。  
お湯で割れば体が温まるホットみかんドリンクに。  
炭酸水で割ったり、紅茶に混ぜて飲むのもおすすめです。

【材料(直径15cmの型1個分)】

みかんのシロップ煮：みかん4個(約200g)／砂糖 大さじ3／水 カップ3/4  
生地：無塩バター 100g／砂糖 80g／卵 2個／小麦粉 120g／ベーキングパウダー 小さじ1/2／塩 少々／シナモン 適宜

★下準備…バターは暖かいところにおいて柔らかくする。型にオーブン用シートを敷く。

①みかんは3mm厚さの輪切りにする。小鍋にみかん、砂糖と水を加えて5分煮、冷ましておく。半量を細かく切り、煮汁はどっておく。

②バターに砂糖を加え、泡立て器で白っぽくなるまで混ぜる。溶き卵を少しづつ加え、そのつどよく混ぜてクリーム状にする。

③小麦粉とベーキングパウダーをふるい入れ、ゴムべらで粉っぽさがなくなるまで混ぜる。シナモン、塩、1の細かく切ったみかんを加えて混ぜる。

④型に③を入れ、輪切りのみかんを並べて180度のオーブンで40～45分焼く。熱いうちに①の煮汁を全体に塗る。

# キュアセンス® 輸液ポンプ IP-100



## タッチパネルによるスムーズな操作

4.3インチのカラー液晶タッチパネルディスプレイを採用。指先でディスプレイに触れるだけのシンプルな操作性と優れた視認性を実現しています。



## 小型・軽量設計

JMS輸液ポンプOT-8シリーズと比較して、重量を約4割、容積を約3割削減し、臨床現場での扱いやすさを追求しました。



## 無線LAN機能

PC専用ソフトウェアと連携することで、ポンプの動作状況を遠隔で確認が可能です。ポンプの動作履歴取得や設定値管理、時刻設定が可能となり、効率的な管理をサポートします。



## JYモード

JMSの汎用輸液セット(JYシリーズ)を用いて、回転数制御で輸液を行うJYモードを搭載しています。

●キュアセンス、CURESENSEは株式会社ジェイ・エム・エスの登録商標です。



人と医療のあいだに…

販売業者 株式会社 ジェイ・エム・エス  
東京都品川区南大井 1-13-5 新南大井ビル

販売名：キュアセンス輸液ポンプ IP-100

製造販売業者 株式会社 メテク  
埼玉県川越市芳野台一丁目103番地66

医療機器承認番号：30100BZX00139000



動画のリンクです  
是非ご覧ください

2021.08JMS